

木耐協 技術通信

2003年
4月号

技術的なご質問・ご相談などは・・・

- 組合員専用ホームページ「安齋先生への質問コーナー」よりお気軽にお問い合わせ下さい
 - 直接お電話でのご相談の場合は、木耐協事務局まで。
- 毎週金曜日 9:00～18:00 TEL:048-224-8316

監修：日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 技術顧問 安齋正弘 TEL：03-5549-2115 FAX：03-5549-2125



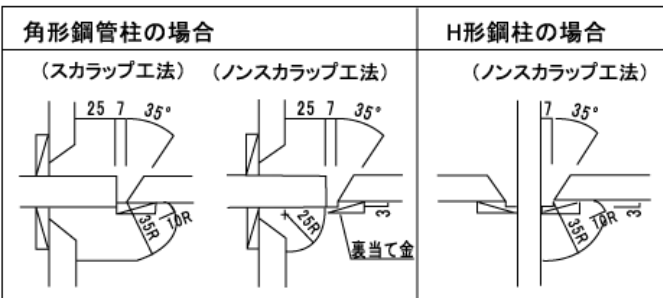
先日、妻と夜桜見物してきました。小雨模様の冷たい風で花見客はまばら。テント造りの屋台に入ると何と、カラオケが無料だという。店員に薦められ、'知らぬ同士でなんとやら'。結構楽しいひとときでした。

本題に入りましょう。今回は比較的相談例の多い、柱脚ピンの鉄骨門形ラーメンの柱—梁接合部と継手基準のディテール及び継手リストを一覧にしておきます。保存版ですゾ。

1、柱—梁接合部、梁継手基準

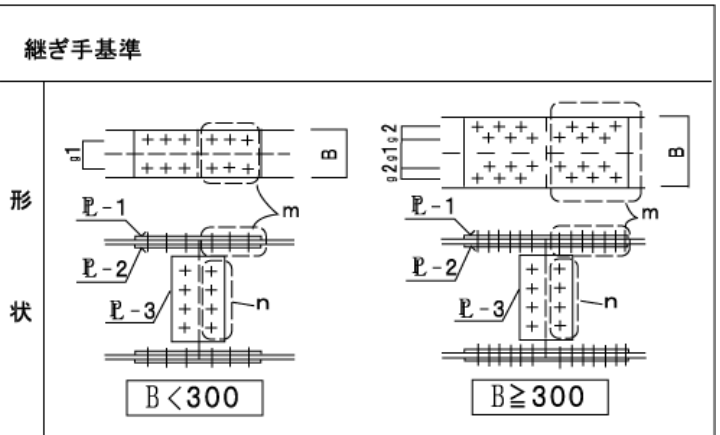
鉄骨ラーメンの命は正にこの柱—梁部分の溶接です。これが不完全だとどんなゴツイ部材を使って威張ってもナンセンス！この部分のディテールは以下の様です。

スカラップ形状



注1. 成175以下のH形鋼材の場合は上記スカラップ寸法を用いるとウェブの残り部分が少なく、せん断耐力に不安が残るので、このような場合は裏当て金を用いず又スカラップ寸法も半径15ミリ位に押さえて、ガウジング(裏ハツリとも言う)・裏溶接によりフランジの突合せ溶接を完成するのが良い。

注2. エンドタブの扱いも鉄骨業者との打合せの上決定するのが良い。



2、継手リスト

ここでは良く使用されるメンバーの継手基準を載せておきます。(基本は保有耐力接合です。)

継手基準一覧

注)、(m),(n)はそれぞれ上図におけるFLG・WEBのH.T,B片側の本数・径を示す。

継手符号	部 材	FLG			WEB		継手符号	部 材	FLG			WEB	
		PL-1	PL-2	(m)	PL-3	(n)			PL-1	PL-2	(m)	PL-3	(n)
J-1	H-248*124*5*8	12	—	6-M16	2*6	2-M16	J-7	H-194*150*6*9	12	—	6-M16	2*6	2-M16
	H-250*125*6*9						J-8	H-244*175*7*11	12	—	6-M20	2*9	2-M20
J-2	H-298*149*5.5*8	12	—	6-M20	2*6	3-M20	J-9	H-294*200*8*12	9	2*9	6-M20	2*9	3-M20
	H-300*150*6.5*9						J-10	H-340*250*9*14	12	2*12	8-M20	2*9	3-M20
J-3	H-346*174*6*9	9	2*9	6-M20	2*9	3-M20	J-11	H-125*125*6.5*9	12	—	6-M16	2*6	2-M16
	H-350*175*7*11						J-12	H-150*150*7*10	12	—	6-M20	2*6	2-M20
J-4	H-396*199*7*11	12	2*12	6-M20	2*9	4-M20	J-13	H-175*175*7.5*11	9	2*9	6-M20	2*9	2-M20
	H-400*200*8*13						J-14	H-200*200*8*12	9	2*9	6-M20	2*9	2-M20
J-5	H-446*199*8*12	12	2*12	8-M20	2*9	5-M20		H-200*204*12*12					
	H-450*200*9*14						J-15	H-244*252*11*11	12	2*12	8-M20	2*9	2-M20
J-6	H-496*199*9*14	16	2*16	8-M20	2*9	6-M20		H-250*250*9*14					
	H-500*200*10*16						H-250*255*14*14						

来月号では、柱脚のディテールを作る予定です。